

MECENAT AWARDS '95

メセナ大賞 '95

Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

ごあいさつ

本日はお忙しい中を「メセナ大賞 '95」の贈呈式にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。開会にあたり、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

本日受賞される企業・企業財団の皆様、おめでとうございます。関係各位のメセナ活動への日頃のご尽力に対し深く敬意を表します。また、選考にあたり公平かつ厳正に審議を重ねてくださった審査委員各位、全国から自薦他薦でご応募くださった企業・企業財団の皆様に心より御礼申し上げます。

今年で5回目を迎えました「メセナ大賞」事業は当企業メセナ協議会が1991年に創設したもので、前年度に企業や企業財団が行った芸術文化支援活動のうちで、とくに優れたものを表彰するものでございます。企業による健全かつ有益な文化支援がいつそう盛んになり、人々がより豊かな芸術・文化を享受できるようになることを念願して創設された「メセナ大賞」ですが、回を重ねるごとに、いよいよ認知度が高まっておりますことは嬉しいかぎりでございます。

対象となる1994年度も厳しい経済状況ではありましたが、今回も全国津々浦々から多種多彩なメセナ活動の応募がございました。

本日、晴れの受賞に輝く企業・企業財団のメセナ活動は特に企画性や創造性にあふれ、継続性にすぐれ、社会への貢献度の高いものばかりでございます。

不況の今も、内外での企業メセナへの期待が高まっております。地域社会に根ざした活動はもとより、国際的な視点をもったメセナ活動が広く期待されております。本日の贈呈式を機に、日本国内のみならず世界の芸術や文化の向上に企業のメセナ活動が大いに寄与するよう、いつそう充実されることを祈ってやみません。

社団法人 企業メセナ協議会

会長 西尾 信一

メセナ大賞 '95

わが国に所在する企業及び企業財団によって
1994年度内(1994年4月1日～1995年3月31日)に行われた
メセナ(芸術文化支援)活動のうちで、
芸術文化振興に優れた貢献をした活動に
メセナ大賞、審査委員特別賞、メセナ各賞が贈呈されます。
「メセナ大賞」は、企業メセナの一層の充実と
この問題への世論の関心を高めることを目的として、
1991年に創設されました。

メセナ大賞 ◆ 総合的に優れているメセナ活動

審査委員特別賞 ◆ 審査委員会にて、特に高く評価された
メセナ活動

メセナ各賞(五十音順)

メセナ育成賞 ◆ 芸術家/芸術団体の育成に貢献した
メセナ活動

メセナ企画賞 ◆ 企画がユニークで、独創性に富む
メセナ活動

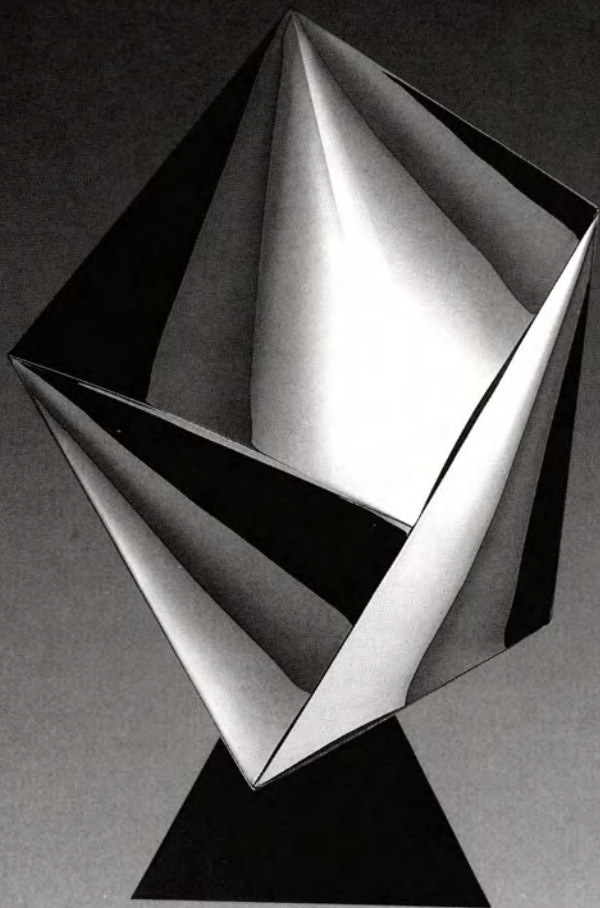
メセナ国際賞 ◆ 国際文化交流の面で貢献度の高い
メセナ活動

メセナ奨励賞 ◆ 特に推奨に価する中小企業の
メセナ活動

メセナ地域賞 ◆ 地域の芸術文化振興に寄与した
メセナ活動

メセナ普及賞 ◆ 芸術文化の普及に貢献した
メセナ活動

MECENAT AWARDS '95



トロフィー制作●多田美波(彫刻家)

〔最近の主な作品〕

東京芸術劇場にレリーフ「調」／東京都新都庁舎に彫刻「滞」／

東京都江戸東京博物館ホールに天井造形「翔彩」／

大阪府ドーンセンターに彫刻「Soar」／紀尾井ホールに光造形

〔主な受賞〕

ヘンリー・ムーア大賞／紫綬褒章／勲四等宝冠章など

審査委員



東京国立近代美術館
館長
植木 浩



佐賀町エキジビット・
スペース主宰
小池 一子



ピアニスト
高橋 アキ



ジャーナリスト/
ニュースキャスター
筑紫 哲也



小説家
辻 邦生



演出家
蜷川 幸雄



神奈川大学教授
松岡 紀雄



作曲家/
彩の国さいたま
芸術劇場館長
諸井 誠



創企業メセナ協議会
理事長
福原 義春

(敬称略・五十音順)

選考経過

創設5周年を迎えた本年度のメセナ大賞は、音響機器メーカーTOA(株)にすんなり決まった。その子会社ジーベックが自主運営するホールでの、従来のコンサート、音楽イベントとは違う実験的で前衛的な、ジャンルを超越した独創的な催しが、審査委員一同の高い評価を獲得したからだ。このような独創的な催しを日常的に、かつ継続的に行うホールは、わが国で他に例がない。この大賞決定には、日本各地に新しいアートへの試みを支援する企業が増えて欲しいという審査委員諸氏の願いと、阪神地域の芸術・文化再生への深い期待が込められている。前年からはじまった審査委員特別賞に決まった「モードのジャポニスム展」は、そのすぐれた着眼、企画性、国際性が注目されての受賞である。京都服飾文化研究財団の17年に及ぶ支援の継続性、地道な研究実績も評価された。

企画賞(アジア子供アート・フェスティバル 三菱広報委員会)、国際賞(アジアの現代文芸 大同生命国際文化基金)はじめ、各賞の受賞事例もヴァリエティに富んだ質の高いものである。《アジア》が目立ったのも、本年度の特色として注目されよう。

「メセナ大賞'95」には、116企業・企業財団から144件の事例が全国25都道府県から自薦・他薦の形で寄せられた。しかもその三分の一が今回はじめての応募だったことは、「メセナ運動が全国的に認知され、根を降ろしつつある」ことを裏書きしているといえよう。メセナの対象分野も、音楽、美術、演劇から映像、民俗芸能・郷土文化、図書館・美術館活動、舞踊、工芸、服飾、建築と広範囲に及んでいる。長引く経済不況下での企業メセナの浮沈が懸念されたが、今年も質量ともに充実したメセナ各賞を選ぶことができたと思う。応募企業・財団各位、すぐれた事例をご推薦下さった方々、関係者の皆様のご努力に心から感謝申し上げる次第である。

今後の課題として、年々増加するボランティア型のメセナ活動をどう審査していくかという問題も論議された。〈メセナの松明〉として、「メセナ大賞」のいっそうの充実・発展をめざして行きたいと念願している。

社団法人 企業メセナ協議会
専務理事 根本 長兵衛

プログラム

メセナ大賞 '95贈呈式

日時／1995年11月22日(水) 13:30～16:00

会場／有楽町朝日ホール

東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11階

司会 岡本妙子

13:30 オープニング

開会のあいさつ 西尾信一(社企業メセナ協議会会長)
来賓祝辞 遠山敦子(文化庁長官)

13:40 受賞企業・企業財団表彰

選考経過報告 富岡隆夫(社企業メセナ協議会大蔵部会長)
メセナ育成賞 発表・表彰
メセナ企画賞 発表・表彰
メセナ国際賞 発表・表彰
メセナ奨励賞 発表・表彰
メセナ地域賞 発表・表彰
メセナ普及賞 発表・表彰
審査委員特別賞 発表・表彰
メセナ大賞 発表・表彰

14:50 メセナ大賞のあゆみ

第1回～第4回受賞事例のスライド紹介

15:00 審査委員フォーラム

『文化のリアリティ』とは何か
Ⅰ部 蜷川幸雄氏の報告「舞台の現場から」
Ⅱ部 フォーラム
高橋アキ氏、筑紫哲也氏、諸井誠氏(五十音順)
司会 根本長兵衛(社企業メセナ協議会専務理事)

16:00 エンディング

閉会のあいさつ 福原義春(社企業メセナ協議会理事長)

●記念レセプション 16:00～17:00 会場:有楽町朝日スクエア
(有楽町マリオン11階)

メセナ大賞 '95

- | | |
|---------|---|
| メセナ大賞 | TOA(株)
ジーベックホールを中心として行っている
音文化啓蒙活動 |
| 審査委員特別賞 | (財)京都服飾文化研究財団
『モードのジャポニスム—キモノから生まれ
たゆとりの美—』展の開催など |
| メセナ育成賞 | (株)パルコ
「URBANART」(アーバナード)の開催 |
| メセナ企画賞 | 三菱広報委員会
三菱IMPRESSION・GALLERY〜アジ
ア子供アート・フェスティバル〜の実施 |
| メセナ国際賞 | (財)大同生命国際文化基金
「アジアの現代文芸」プログラムの翻訳出版 |
| メセナ奨励賞 | 広島信用金庫
「ひろしま平和能楽祭」「青少年のための
能楽鑑賞教室」の開催 |
| メセナ地域賞 | 稚内信用金庫
稚内市での札幌交響楽団定期公演の全面
的支援など |
| メセナ普及賞 | (財)三井海上文化財団
地域住民のためのコンサートの共同主催 |

メセナ大賞

TOA 株式会社

TOA CORPORATION

神戸市

ジーベックホールを中心として行っている
音文化啓蒙活動

音響機器メーカーTOA株は1989年に、神戸ポートアイランドの本社ビル竣工と同時に「音の情報発信基地」としてジーベックホールをオープンした。事業領域である「社会の音」を良くするためのツールのひとつとして設置された、自社技術を駆使した設備を持つ300人収容のフリースペース「ジーベックホール」は、人と音と空間の関係やこれからの音のあり方を考え、その成果に基づいて新しい音の世界を創り出す実験空間である。ここでは、単なるコンサートでなく、イベントでもない、ジャンルを超越した個性的な「時間芸術」が素直な形で紹介されている。若手、巨匠を問わず、さまざまな音楽家、特に実験的な活動を展開するアーティストが自由に思うままに活動する空間であり、このような独創的な催しが日常的に継続しているホールは、わが国ではほかに例がない。独自の理念をもって、興行的には成り立たない実験的、先進的音楽を積極的に取り上げてきたこのホールのユニークな活動が高く評価され、本年度の大賞に決定した。

未来の音文化の実験室

このジーベックホールは通常のホールと異なり、周囲の壁全面にスピーカーを埋め込み、多彩な照明やスクリーンなどを備えて、アーティストの実験精神を刺激するべくつくられている。貸ホールのほか、実験音楽、環境音（音楽）、サウンドインスタレーションを中心とした数々の主催イベントを積極的に開催している。これらの事業を自主運営するために、100%子会社の(株)ジーベックを設立し、企画、制作、運営のスタッフを本社から派遣している。

同社はこれらの活動をメセナと評価されたのは、「嬉しい誤



算だ」という。こけら落としのブライアン・イーノのビデオ・インスタレーション以来、単なる音楽イベントではなく、これからの「音」のあり方を探る音空間の実験室としてユニークな企画を重ねてきたが、これらの活動は同社の経営理念である「音の持つ役割を追求することにより、顧客の期待する価値を実現する」にダイレクトに結びついていると考えてきたからだ。

活動の内容としては、①現代音楽やコンピューターを用いた音楽表現のための実験、音の役割を再発見するためのパフォーマンスやイベントの自主公演や支援活動 ②民族音楽、民族楽器の紹介やイベント活動 ③音の役割、音の重要性を、レクチャーと体験・実験で学ぶ「サウンド&アートワークショップ」の実施 ④音の役割を意識してもらうため「サウンドスケープ」への関心を高めるためのイベントやコンサートなどの実施など。

神戸独自の、いや、日本独自の、未来に向けての、音文化の発信基地として、今後の活動が期待されよう。

1995年1月の阪神大震災のため、ポートアイランドにあるジーベックホールは休業を余儀なくされていたが、6月末からホールを再開することができた。

審査委員特別賞

財団法人 京都服飾文化研究財団

KYOTO COSTUME INSTITUTE

京都市

「モードのジャポニスム—キモノから
生まれたゆとりの美—」展の開催など

国内において服飾文化を歴史的・体系的に研究・公開している機関がきわめて少ないなか、京都服飾文化研究財団は、生活文化の一分野として認識されている服飾文化を学術的な研究対象として見直し、その成果を美術館で公開することによって、芸術文化の一分野としての認知度を高めたばかりでなく、その独創的な研究・企画内容によって世界の服飾文化の発展に貢献した。今回の審査対象となった京都国立近代美術館での「モードのジャポニスム」展は、日本の美意識が西欧の服づくりに与えた影響を世界で初めて実証し、国内外の服飾文化研究に新たな視点をもたらした。財団の17年にわたる継続的な活動の集大成として高い評価を受け、今回の審査委員特別賞の授賞となった。

世界の服飾文化研究の発展に貢献

京都服飾文化研究財団は、公益のために服飾文化資料の収集・保存・研究をおこない、その成果を広く公開し、国内外の服飾文化の発展に寄与すべく、(株)ワコールによって1978年に設立された。これまでに収集した服飾資料・図書文献はともに1万点近くを数え、国内外での展覧会の開催、海外美術館への資料出展、定期的な研究誌の発行などをおこなってきた。これらの活動は、(株)ワコールからの恒常的な寄付・協賛と社員9名による資金・人材両面でのバックアップがあって継続が可能となっており、まさに(株)ワコールと財団との二人三脚の成果といえる。

日本の美術が19世紀後半から西欧美術に与えた影響に関する研究や展覧会は、絵画・工芸の分野では多くおこなわれてきたものの、服飾分野では注目されてこなかった。同財団では、西欧より収集した服飾資料に、日本独自のデザイン・着装方



法等の影響が見られることに着目し、作品を通じてモード史におけるジャポニズムの検証を進めた。その成果が、94年4月から2か月間にわたって京都国立近代美術館で開催された「モードのジャポニズムーキモノから生まれたゆとりの美ー」展として結実したのである。

東西文化の相互性に新たな視点を切り開いたとして、国内外から高く評価された同展は、開催にあたって海外の美術館等より出展品を借用する必要があったが、各美術館から寄せられた高い関心によって、国際的な協力関係が実現した。同展と同時に開催された国際博物館会議コスチューム委員会・京都会議では、同財団がホスト役を果たし、服飾文化の国際交流の推進に大きな役割を演じた。ちなみに同展は来年、パリ・東京へ招聘されることが決定している。

メセナ育成賞

株式会社 パルコ

PARCO CO., LTD.

東京都

「URBANART」(アーバナート)の開催

「URBANART」(アーバナート)は、URBAN=都市とART=芸術の合成語。このクリエイティブなネーミングでヴィジュアルアートの世界に、創作活動への支援体制を確立した公募展である。単なる門戸開放型ではなく、①パルコの全国ネットを活用した〈応募の便宜さ〉、②海外にまで広げた展覧会の開催〈表現の場の提供〉、③CD-ROMによる完全な〈記録化〉など。その企画の独自性は従来のコンペティションとは一線を画するもので、つねに着実に“いま”をキャッチしているのが特色である。通算16年、23回の展覧会実施、総応募数50,000点。数多くの才能が輩出し、そのすぐれた実績が評価され、今回の授賞になった。

若手・新人アーティストの発掘と育成に寄与

URBANARTは、つねに時代を見つめ、変化していく社会背景の中で、アート一筋の軌跡をつらぬいてきた。

1980年、イラストレーションが大衆レベルの視覚文化として存在感を表し始めた時期、「日本グラフィック展」(1980～1991)続いて「オブジェTOKYO展」(1985～1991)を開催し、80年代のアートシーンを切り拓く先駆的な役割を果たした。90年代に入り、アートは既成の“グラフィック”や“オブジェ”といった枠組みでは捉えられないという認識で、先の二つの公募展を統合し、1992年「URBANART」をスタートさせている。都市文明の中で発生してくる表現を広く集めて、4回の開催で8,000点もの創作応募を数えた。

これらの経緯・実績から、日比野克彦・タナカノリュキ・谷口広樹・内藤こづえ・馬田純子・長島有里枝ら実力派スターが誕生している。才能発掘の機会均等と幅広い鑑賞の場を求めて、全国で〈エリア展〉を開催。また、ミラノ展覧会を開いたり、シンガポールで作品公募を行うなど、国境を越えた芸術交流をめざしている。さらにアーティストの育成・情報交換の場として“オークション”の企画と、つねに多角的な活動を推進している。

メセナ企画賞

三菱広報委員会 (三菱系企業 41社)

MITSUBISHI PUBLIC AFFAIRS COMMITTEE

東京都

国際識字年記念・三菱 IMPRESSION-GALLERY

～アジア子供アート・フェスティバル～の実施

1枚の絵よりも絵日記ならば、心の中や日常生活を表現しやすく、また読む人にも理解しやすいのではないか、アジア各地の子供たちに絵日記をかいてもらい、そこに描かれた習慣、風俗、生活、夢、心をとおして、言葉も民族も国境も越えて、子供たちとふれあい、アジアを識ることができるのではないかと考えから始められた。応募された優秀作品は、「アジアの子供たちの絵日記展」として日本各地および参加各国で展示されるだけでなく、参加国の識字教材をつくり、識字教育にも活用されている。また、来日したグランプリ受賞の子供たちには日本や日本人を正しく理解してもらう機会となり、子供どうしの国境・文化・言葉を越えたふれあいの場となっている。このように、国際的、芸術的、教育的視野に立つ多角的な優れた企画が高く評価され、今回の受賞となった。

子供の絵日記からアジアを識る

アジア23の国と地域の、6～12歳の子供たちから「1作品7枚綴りの絵日記」を募集し、日本国内と参加各国で展示紹介するという活動。三菱広報委員会がアジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟と日本ユネスコ協会連盟の協力を得て、国連の制定した国際識字年にあたる1990年より実施している。1990から1994年までの5年間にアジア各地を3期に分けて作品を募集。それぞれの参加国・地域の選考を経て、東京での最終選考によって、グランプリ各1作品、各国優秀賞などを選び、各国のグランプリ受賞者を副賞として日本に招待し表彰した。優れた作品は「アジアの子供たちの絵日記展」として各地で開催、展示され、お国ぶり豊かな色彩やタッチで描かれた子供たちの作品は来場した数多くの人びとに感動を与えた。

1994年からは、さらなる発展・充実をめざして、この事業は継続・拡充され、2年に1回、日本を含む24の国と地域から1度に作品を募集・展示することになり、アジアのほぼすべての地域の作品と子供が一堂に会することになった。

メセナ国際賞

財団法人 大同生命国際文化基金

DAIDO LIFE FOUNDATION

大阪市

「アジアの現代文芸」プログラムの翻訳出版

アジアとの国際理解を深めようと、そこに住む民族の考え方、生き方を表わしたアジア諸国の現代文芸作品を翻訳し出版している。これまでインド、パキスタン、ミャンマー、タイ、ラオス、インドネシア、マレーシアの7か国の作品27冊を出版し、全国の大学、公立図書館に寄贈してきた。

アジアの文芸作品は欧米の文学と比較して読者数が限られており商業ベースに乗りにくいいため、大手の出版社が翻訳出版を試みることは少なく、大同生命の財団の地道な活動は意義深い。「アジアの時代」を迎えて、その国際性が高く評価され、授賞となった。

文学で生きたアジア紹介

この財団は、1985年大同生命保険相互会社の創業80周年を記念して、わが国と諸外国との人と文化の交流を通じ、国際的相互理解の促進を図ることを目的に設立された。

わが国はアジアの一員でありながら、これまでアジア地域の文化や人々の営みに対する認識は十分でなかったといえる。そこで、この「アジア現代文芸」プログラムは、「文芸は民族の心を浮き彫りにし、それを生んだ国々の姿を映すたしかな鏡である」との考えにもとづいて、めざましく発展するアジア諸国の今日の姿を小説、詩歌、随筆、戯曲、評論等々の紹介を通じて、国際理解と身近な交流の促進に資することを目的に財団設立と同時に始められた。翻訳出版した7か国の27冊の作品は、大学や公立図書館に寄贈してきたが、その延べ冊数は5万9千冊にのぼる。また、1989年からは日本の文芸を世界に発信するプログラムも始め、タイ語やウルドゥ語の翻訳本も出版した。

アジア諸国の文芸作品は商業ベースに乗りにくいこともあって出版例は少なく、従って翻訳者が育ちにくい状況にある。このプログラムは、そうした人々に出版の機会を提供することで、併せて人材の育成にも寄与するところがあった。

メセナ奨励賞

広島信用金庫

THE HIROSHIMA SHINKIN BANK

広島市

「ひろしま平和能楽祭」と

「青少年のための能楽鑑賞教室」の開催

人材や予算、スペースなどの制限から、どの都市でも第一級の能を定期的に鑑賞する機会があるわけではない。広島市民の声を拾いあげ、能楽祭を誕生させた広島信用金庫の活動は、地域の芸術文化のニーズに応えたものとして意義深い。また鑑賞の機会を青少年にも広げたことは、彼らの古典に対する理解を促進し、若い感性を育むうえで評価に値する。古典芸能の振興における貢献度の高さ、地元の芸術文化の質の向上にもたらした功績の大きさが高く評価され、メセナ奨励賞の授賞となった。

能楽の鑑賞機会の提供と観客の育成

「アマチュアによる発表会はあるけれど、プロによる演能を観る機会がない。」1991年、広島市に本格的な能舞台が完成したことを機に、広島市能楽愛好者連盟を中心とした広島市民の要望が高まり、広島信用金庫が推進母体となって「ひろしま平和能楽祭実行委員会」を組織。同信用金庫内に事務局を設置し、8名の職員が中心となって企画・運営のすべてを手づくりでおこなっている。毎年、観世・喜多・金剛・宝生の各流派より出演者を迎え、質の高い演能を無料で提供しており、過去5年間に日本・アジア各国から招待した観客は総計4,000名にのぼる。また、若い人たちにも能楽に親しんでもらいたい、と「青少年のための能楽鑑賞教室」も開始。広島市および近郊の高校生を、授業の一環として無料招待し、解説と実演を通して能楽の面白さを伝える努力をつづけている。継続こそ力なり、と今年3月には「財団法人ひろしん文化財団」を設立。市民の声を発端に始められた同信用金庫の能楽振興は、資金面での安定も確保され、ますます本格化しそうである。

メセナ地域賞

稚内信用金庫

THE WAKKANAI SHINKIN BANK

北海道 稚内市

稚内市での札幌交響楽団定期公演の 全面的支援など

同信用金庫は、日本最北端にある人口4万6千人の稚内市内で、1986年札幌交響楽団（札幌）の定期公演を実現させた。札幌が札幌市内以外のところで定期公演を行ったのはこの時が初めてで、同公演以後10年にわたって継続されてきた。毎年、宗谷管内の中学生を学校単位で招待し、定期公演が定着するにつれて、近年は入場者もコンスタントに千人を越えるようになった。また、学校の吹奏楽団や音楽教室に通う子どもたちが10年で倍増するなど、地域への波及効果はきわめて大きい。「稚内音楽文化協議会」という地元企業を中心に継続性のある独自の支援体制がつけられ、その活動の原動力となった同信用金庫の大きな役割と、地域文化育成に寄与したその功績が高く評価され、今回の授賞となった。

定期公演の実現が地域住民の音楽ファン育成に寄与

稚内市での札幌定期公演は1986年以来毎年6月に開催され、1995年で10周年を迎えた。この定期公演を実現させているのは、稚内信用金庫を軸とした地元の水産加工企業や建設会社など15社からなる「稚内音楽文化協議会」である。

きっかけは、1984年の稚内総合文化センターのこけら落としで、札幌交響楽団と300人の市民による「第九」の大合唱がたいへんな盛り上がりを見せ、大きな反響があった折、「1度きりで終わらせず、札幌の定期公演の機会をつくりたい」と動いたこと。同信用金庫は協議会創設時から理事長が会長をつとめ、現在まで継続して事務局を担当するなど、活動の中心となり、積極的に運営にあたっている。3000円の入場料、中学校招待や小中学生1日音楽教室の開催なども効果をうみ、住民のクラシック音楽に対する興味や関心は膨らみ入場者は年々増えている。また、同信用金庫は他にも同協議会を通じてPMFなど音楽への支援をしている。

同信用金庫は、1993年北海道が創設した第1回「北海道地域文化選奨特別賞」および「企業市民文化賞」を受賞した。

メセナ普及賞

財団法人 三井海上文化財団

MITSUI MARINE CULTURAL FOUNDATION

東京都

地域住民のためのコンサートの共同主催

近年全国には多数公共ホールが建設されているが、文化の拠点としての役割を十分に果たしていない所も多い。当文化財団は、地域における文化の振興を支援するため地方の公共ホールに著名な演奏家を派遣し、都道府県ならびに市町村と共同主催により地域住民のために質の高いコンサートを提供している。

このコンサートの特徴は、演奏会を準備し開催するまでのノウハウを伝える点で、地域住民が公共ホールで手作りの演奏会を開けるように支援している。このように地域の文化普及に貢献していることが高く評価されメセナ普及賞の授賞となった。

地方の文化ホールの活用と演奏会のノウハウを提供する

同文化財団は1988年、三井海上火災保険株式会社(当時は大正海上火災)の創立70周年を記念して、音楽、郷土芸能などの分野において地域の文化振興、及び国際交流の促進を図ることを目的に設立された。

各地の公立文化ホールにわが国の著名なクラシック音楽の演奏家(独唱から室内楽まで)を派遣し、都道府県ならびに市町村と共同主催により、質の高いコンサートを提供している。開催地については毎年10月末締切で都道府県の文化担当局に案内して、次年度の開催希望市町村を公募し、年間30市町村で開催している。

財団は音楽家の出演料、交通費、宿泊料を負担し、入場料はできるだけ低く押え現地主催者がポスターやプログラムを作成する費用などに当てている。

また、コンサート運営の手引きを作成し、ポスターやプログラムの作り方、演奏家の受け入れ方、ステージ上の準備、アナウンスなど自主的な演奏会を開く際に役立つノウハウを伝えるなど、「音楽を与える人材」作りに貢献してきた。さらに、コンサート終了後、演奏家を囲んで交流会をおこなって、アーティストと文化ホール、地元の支援者との結びつきを強める一助とするようアドバイスしている。

メセナ大賞 '95応募企業一覧(五十音順)

- ☐ (株)アートネイチャー (東京都)
加藤楸邨記念館の運営
- ☐ (財)愛銀教育文化財団 (愛知県)
教育・文化活動に関する助成、援助
- ☐ 旭硝子(株) (東京都)
中部ガラスアート'94の開催
- ☐ 朝日生命保険(相) (東京都)
「全国児童生徒絵画・かきぞめコンクール」の開催、新都心プロムナードギャラリーの運営など
- ☐ 朝日放送(株) (大阪府)
「ABCギャラリー」の運営、活動
- ☐ (財)アフィニス音楽財団 (東京都)
「第6回アフィニスセミナー」の開催、プロオーケストラへの支援など
- ☐ (株)アムス西武三軒茶屋 スタジオams (東京都)
「東京学生映画祭(7回目)」の開催
- ☐ イオングループ1%クラブ (千葉県)
地域伝統芸能公演
- ☐ 出光興産(株) (東京都)
第5回出光音楽賞の贈呈
- ☐ (株)イトーヨーカ堂 (東京都)
「イトーヨーカドー子ども図書館」設置、「高校生懸賞作文」「小さな童話大賞」の実施
- ☐ (株)伊藤園 (東京都)
「おいお茶新俳句大賞」の開催
- ☐ (財)稲盛財団 (京都府)
「京都賞」(精神科学・表現芸術部門)の顕彰
- ☐ (株)イノアックコーポレーション (愛知県)
New Yearコンサート・レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」協賛
- ☐ (株)伊予銀行 (愛媛県)
伊予銀行地域文化活動助成制度の運営
- ☐ (財)エー・ピー・シー音楽振興財団 (大阪府)
若手音楽家の発掘・育成のための「ABC新人コンサート」の実施
- ☐ 大倉山水曜コンサート支援企業 (神奈川県)
「大倉山水曜コンサート」への支援
- ☐ (株)川島織物 (京都府)
綴織り「平成悲母観音」創製、「甦る世界・悲母観音」展の開催
- ☐ (株)煥呼堂 (群馬県)
「煥呼堂シネマ165の会」の開催

- ☐ (株)学習研究社 (東京都)
児童演劇地方巡回公演への支援
- ☐ (株)九州ニチイ (福岡県)
博多どんたく港祭り「嵐踊り」の運営
- ☐ 京都中央信用金庫 (京都府)
祇園祭「函谷鉦」運営への支援活動
- ☐ (財)京都服飾文化研究財団 (京都府)
「モードのジャポニスム・キモノから生まれたゆとりの美」展の開催
- ☐ 協和発酵工業(株) (東京都)
「94朝日ヤングセッション 平山郁夫講演会「世界の文化遺跡と日本を考える」開催など
- ☐ キリンビール(株) (東京都)
「キリンコンテンポラリーアワード」の実施、「キリンプラザ大阪」の運営
- ☐ 近畿日本ツーリスト(株) (東京都)
旅の文化研究所による公募研究助成や出版事業など
- ☐ (株)久保工務店 (東京都)
「彫刻のある町・神田」をテーマとした彫刻運動、「神田学会」活動など
- ☐ (株)コスメロール (東京都)
サントリーホール「オルガンプロムナードコンサート」への協賛
- ☐ (株)コロナ (新潟県)
「94コロナスペシャルコンサート」の開催
- ☐ 五稜郭タワー(株) (北海道)
「市民創作函館野外劇」の支援など
- ☐ (財)佐賀銀行文化財団 (佐賀県)
新人賞の贈呈
- ☐ 相模鉄道(株) (神奈川県)
第4回JRPS相鉄ギャラリー展「季節の中の鉄道」の開催
- ☐ (株)さくら銀行 (東京都)
「貨幣資料室」、「さくら銀行京都文化財展示室」の運営
- ☐ サミット(株) (東京都)
第5回大宮八幡宮「杉並花笠祭」の開催
- ☐ サントリー(株) (大阪府)
「サントリー1万人の第九コンサート」支援
- ☐ (株)三陽商会 (東京都)
「サンヨーホールコンサート」の開催
- ☐ (株)しゅんこう (兵庫県)
「和紙ちぎり絵」の芸術文化活動に対する資金・人的・物的援助
- ☐ (株)殖産銀行 (山形県)
山形美術館の無料開放
- ☐ (株)資生堂 (東京都)
「資生堂ギャラリー」におけるギャラリー活動

- ☐ 信越化学工業(株) (新潟県)
信越化学地域文化振興事業実行委員会の活動
- ☐ 真生印刷(株) (大阪府)
第5回花と緑で結ぶ児童・生徒絵画コンクールの実施
- ☐ (株)住友銀行 (大阪府)
住友銀行スプリングコンサート・三枝成彰の「音楽の時間」の開催
- ☐ 住友生命保険(相) (大阪府)
「全国縦断チャリティコンサート」の実施
- ☐ 積水化学工業(株) (大阪府)
ミュージカル劇団「ミクル劇団」の育成・支援活動
- ☐ セイコー電子工業(株) (千葉県)
エスエスアイ・コンサート・ウィーン弦楽四重奏団「オペレッタ・ニューイヤーコンサート」への協賛
- ☐ (株)西友 (東京都)
「さっぽろ北方圏映画祭」開催、「スタジオ錦糸町」の年間活動支援など
- ☐ (株)ゼンリン (福岡県)
「オリジナル地図コンクール」の実施
- ☐ (財)ソニー音楽芸術振興会 (東京都)
第9回全日本大学オーケストラ大会の開催
- ☐ (株)増進会出版社 (静岡県)
「柿田川チャリティコンサート」の開催
- ☐ (株)大光銀行 (新潟県)
長岡交響楽団活動への支援
- ☐ (有)タイヨー・ムジーク・ジャパン (神奈川県)
「トツカ・ピアノ・メソッド」の開発など
- ☐ (株)竹中工務店 (大阪府)
「東方道具見聞録」東京展の開催
- ☐ 第一生命保険(相) (東京都)
VOCA展'95の開催、東京ゾリスTENコンサート支援、劇団扉座支援
- ☐ (財)大同生命国際文化基金 (大阪府)
「アジアの現代文芸」プログラムの翻訳出版
- ☐ ダイムラー・ベントツ基金[日本] (東京都)
「ガスコーニュ・ジャパニーズ・アート・スカラーシップ」の実施
- ☐ (財)中信美術奨励基金／京都中央信用金庫 (京都府)
「京都美術文化賞」の贈呈と「京都の美術文化」支援活動
- ☐ (株)千葉銀行 (千葉県)
「ちばぎんアートギャラリー」におけるギャラリー活動
- ☐ 千代田火災海上保険(株) (東京都)
千代田火災ニューイヤーコンサートの開催
- ☐ 月星化成(株) (福岡県)
第8回「つきほし創作館」(童話、写真、絵画)の運営

- ☐ **TOA(株)** (兵庫県)
ジープックホールを中心として行っている音文化啓蒙活動
- ☐ **田苑栗源酒造(株)** (鹿児島県)
『田苑酒蔵サロンコンサート』の開催
- ☐ **(株)電通** (東京都)
『電通ギャラリー』の年間活動
- ☐ **鳥取ガス(株)** (鳥取県)
『鳥取ランバル会』への支援
- ☐ **凸版印刷(株)** (東京都)
『印刷史料館』の運営、『読書感想画中央コンクール』の協賛
- ☐ **(株)東海銀行** (愛知県)
『東海銀行シンフォニア』の企画・開催、『東海銀行貨幣資料館』の運営
- ☐ **東急広報委員会** (東京都)
『TOKYU "Thanks from the Heart" Concert』の開催、『東急フォーラム』の開催
- ☐ **TOTO(東陶機器(株))** (福岡県)
『ギャラリー・間』の活動、『北九州国際音楽祭』への支援など
- ☐ **東北電力(株)青森支店** (青森県)
『ハピロビーツアー』の企画・運営
- ☐ **(株)十勝毎日新聞社** (北海道)
交響詩『十勝』作曲依頼、特別演奏会、CD制作
- ☐ **(株)栃木銀行** (栃木県)
『下野手仕事会創立20周年記念展』紹介ビデオの作成・放映
- ☐ **トヨタ自動車(株)** (愛知県)
『アフター5コンチェルト・ビジネスマン・OLの演奏会』、『トヨタ・コミュニティ・コンサート』の開催など
- ☐ **(財)日航財団** (東京都)
『アジア・アートフォーラム 94-96』の開催
- ☐ **日産自動車(株)** (東京都)
『第11回ニッサン童話と絵本のグランプリ』の実施
- ☐ **日本アイ・ピー・エム(株)** (東京都)
企業文化誌『無限大』の発行、『日本IBMバレー特別奨学金』制度の設置など
- ☐ **日本航空(株)** (東京都)
『泉涌寺音舞台』の実施
- ☐ **(株)日本交通公社** (東京都)
『杜の賑い』の開催
- ☐ **(株)日本債券信用銀行** (東京都)
『日債銀アフタヌーンコンサート』の実施
- ☐ **日本たばこ産業(株)** (東京都)
『生命誌研究館』の活動
- ☐ **(財)日本テレビ放送網文化事業団** (東京都)
『第25回世界児童画展』の運営

- ☐ **日本電気(株)** (東京都)
世界的に著名なオーケストラを継続的に支援
- ☐ **日本マクドナルド(株)** (東京都)
姫路城「喜多郎コンサート」の開催
- ☐ **ハウス食品(株)** (大阪府)
ピアノコンサート「こどもたち」協賛、日本におけるオペレッタの発展への援助
- ☐ **ハウステンボス(株)** (長崎県)
文化施設(ハウステンボス美術館・博物館)の運営・活動
- ☐ **(株)パソナサンライズ アート村設立準備委員会** (東京都)
「第2回アート村・夢のデザイン大賞／作品展」の開催
- ☐ **(株)パルコ** (東京都)
「URBANART」(アーバナート)の開催
- ☐ **(財)東日本鉄道文化財団** (東京都)
東京ステーションギャラリー「墨画から版画 一心にみえる魂の詩・斉藤清展」の開催
- ☐ **広島信用金庫** (広島県)
「ひろしま平和能楽祭」「青少年のための能楽鑑賞教室」の開催
- ☐ **深川製磁(株)** (佐賀県)
文化施設の建設・運営、文化イベントの開催、所有コレクションの一般公開
- ☐ **(株)福岡シティ銀行** (福岡県)
「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」シリーズ、合本の発行
- ☐ **(財)福岡文化財団** (福岡県)
「CITY・プロムナードコンサート」の実施
- ☐ **(株)フジカワ画廊** (大阪府)
公的展覧会への作品貸出しおよび出品協力
- ☐ **(株)富士銀行** (東京都)
成人の日コンサートの開催
- ☐ **富士建設(株)** (香川県)
中津万象閣・丸亀美術館の設置・運営
- ☐ **(株)フジタ** (東京都)
文化施設「フジタヴァンテ」の建設・運営、文化イベントや公演の開催
- ☐ **(財)藤田トイミュージアム財団** (東京都)
所有コレクションの一般公開
- ☐ **富士通(株)** (東京都)
「富士通ドームシアター」の設立・運営
- ☐ **ブラザー工業(株)** (愛知県)
「ブラザーカップ国際青年デザイナーコンクール」の実施
- ☐ **ベネッセコーポレーション** (岡山県)
「ベネッセハウス・直島コンテンポラリー・アート・ミュージアム」の運営
- ☐ **(株)ほうらいやビル／(株)ザ・ニュー・スクール** (東京都)
「THE NEW SCHOOL」のアカデミックな講義

- ☐ (株)ホテルオークラ (東京都)
ユニセフを支援するチャリティ・イベント「企業の名品・アートコレクション展」の開催
- ☐ 本多商事(株)・本多劇場 (東京都)
本多劇場グループの活動
- ☐ (株)ポーラ化粧品本舗 (東京都)
文化イベント・公演の開催、化粧文化研究・出版等
- ☐ (財)真柄教育振興財団 (石川県)
真柄文庫の設置(図書寄贈)、読書推進賞の贈呈など読書推進活動
- ☐ (財)三井海上文化財団 (東京都)
地域住民のためのコンサートの共同主催、文化の国際交流活動に対する助成
- ☐ (株)三越 (東京都)
三越エトワール(ハリ)の文化交流活動
- ☐ 三菱広報委員会 (東京都)
三菱IMPRESSION GALLERY〜アジア子どもアート・フェスティバル〜の実施
- ☐ (財)三菱信託芸術文化財団 (東京都)
音楽芸術活動への継続的助成
- ☐ 三菱地所(株) (東京都)
「横浜ジャズブロードナード'94」へのサポート
- ☐ 未来工業(株) (岐阜県)
「ミライ・コミュニティ・シアター」の開催
- ☐ (財)ヤギメセナファンデーション (石川県)
ヤギスクールシアター ミュージカル公演の実施
- ☐ 安田火災海上保険(株) (東京都)
安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動
- ☐ (財)安田火災美術財団 (東京都)
「ゴッホとその時代展」開催、「奨励賞」贈与、「奨励賞展」の開催など
- ☐ 横浜ハイテクプリント(株) (神奈川県)
「横浜ジャズブロードナード'94」へのサポート
- ☐ (株)ライカ (大阪府)
「木村嘉子展」開催、「ART-EX」芸術家交流事業への協力
- ☐ (株)リクルート (東京都)
「ガーディアン・ガーデン」、「クリエーションギャラリーG8」の運営
- ☐ ローム株式会社 (京都府)
「京都博物日記(書籍・CD-ROM)」の無料配布
- ☐ 稚内信用金庫 (北海道)
稚内市での札幌交響楽団定期公演の全面的支援など

これまでの受賞団体(五十音順)

1991年

メセナ大賞

林原グループ 国際芸術・文化振興奨学金制度の創設ほか

メセナ特別賞

株式会社 INAX 建築、現代美術等の展覧会開催、出版ほか
コニカ 株式会社 大英博物館日本ギャラリーの設立資金援助ほか
新日本製鐵 株式会社 新日鉄音楽賞の創設ほか

メセナ賞

岩谷産業 株式会社 ふるさと交響楽シリーズほか、N響への協賛
オムロン 株式会社 クレアティヴィタリアの特別協賛ほか
セイコーエプソン 株式会社 サイトウ・キネン・オーケストラの欧州公演協賛
トヨタ自動車 株式会社 アマチュアオーケストラの支援活動
モービル石油 株式会社 モービル・ライブ・サウন্ズの提供

1992年

メセナ大賞

株式会社 すかいらーく 財団東京交響楽団の演奏活動支援

メセナ特別賞

財団法人 末永文化振興財団 末永文化センターの運営
ぴあ 株式会社 PFF'91(ぴあフィルムフェスティバル)の開催
財団法人 ポーラ伝統文化振興財団 わが国の伝統文化の保存、伝承、普及、振興に関するメセナ活動

メセナ賞

株式会社 紀伊國屋書店 紀伊國屋ホールの運営
シャチハタグループ ジャパン・アート・スカラシップの協賛
セゾングループ MUSIC TODAY '91の開催
日本アイ・ピー・エム 株式会社 IBMウェルフェア・コンサートの開催
株式会社 紅三 ベニサン・スタジオ、ベニサン・ピットの運営

1993年

メセナ大賞

セゾングループ セゾン美術館の運営

メセナ特別賞

財団法人 トヨタ財団 「隣人をよく知ろう」プログラムの実施
フィリップ モリス 株式会社 日本美術修復計画への支援
株式会社 南日本放送 MBCユースオーケストラの運営

メセナ賞

大阪ガスグループ 扇町ミュージアムスクエアの運営
財団法人 東芝国際交流財団 国内外の美術館、博物館などへの助成
日本生命保険 相互会社 ニッセイ名作劇場の協賛と日生劇場の運営
松下電器産業 株式会社 グローブ座への支援
財団法人 ミュージックファンデーション 音楽文化振興活動

1994年

メセナ大賞

サントリー 株式会社 サントリーホールの運営と活動

審査委員特別賞

株式会社 タダノ イースター島モアイ像修復活動

メセナ育成賞

株式会社 東急文化村 シアターコクーン戯曲賞の運営

メセナ企画賞

三和酒類 株式会社 美術・文学・建築等を含む文化学研究・出版活動

メセナ国際賞

財団法人 日航財団 世界こどもハイクコンテストの運営

メセナ奨励賞

株式会社 あさば旅館涵翠閣 「修善寺芸術紀行」の実施

メセナ地域賞

カトーレック 株式会社 四国民家博物館の運営

メセナ普及賞

財団法人 日本生命財団 「博物館総合案内」書の出版

(社)企業メセナ協議会会員リスト

(1995年11月1日)

正会員

株I&S	三洋電機株	株大広
株朝日広告社	三和酒類株	大東京火災海上保険株
株朝日新聞社	株資生堂	大日本印刷株
朝日生命保険(相)	清水建設株	株ダイヤモンド社
株旭通信社	シヤチハタ工業株	大和證券株
アサヒビール株	株集英社	チェースマンハッタン銀行
朝日放送株	株主婦と生活社	株テレビ東京
味の素株	株主婦の友社	株電通
一帆会・昭電エグループ	株小学館	東海旅客鉄道株
株INAX	松竹株	株東急エージェンシー
岩尾磁器工業株	新王子製紙株	東急建設株
株エイ・アイ・エイ	株新潮社	株東急百貨店
株エフエム東京	新日本製鐵株	東急不動産株
エルメス ジャポン株	株ジェーワン	東京ガス株
オムロン株	株ジェイブ	東京急行電鉄株
株オリエントコーポレーション	ジャスコ株	東京電力株
株オンワード樫山	住友海上火災保険株	株東京ドーム
花王株	株住友銀行	TBS株東京放送
鹿島建設株	住友生命保険(相)	株十勝毎日新聞社
カトーレック株	セイコーエプソン株	凸版印刷株
鐘紡株	株世界文化社	トヨタ自動車株
カルティエ ジャパン株	積水化学工業株	株トライグループ
勸角証券株	セゾングループ	同和火災海上保険株
キヤノン株	全国朝日放送株	西日本旅客鉄道株
株求龍堂	セントラル警備保障株	株ニチレイ
京セラ株	全日本空輸株	日産自動車株
キリンビール株	株草土舎	日東興業株
株京王プラザホテル	ソニー株	株ニッポン放送
株現代彫刻センター	株増進会出版社	日本アイ・ビー・エム株
株講談社	大正製薬株	日本アムウェイ株
株光文社	武田薬品工業株	日本AT&T株
コスモ石油株	株竹中工務店	日本火災海上保険株
株さくら銀行	株タタノ	株日本経済新聞社
株佐谷画廊	株淡交社	日本航空株
株産業経済新聞社	株第一勧業銀行	株日本交通公社
サントリー株	第一企画株	日本酸素株
株三陽商会	第一生命保険(相)	日本食研株

日本信販株	株富士銀行	三菱重工業株
日本製紙株	富士ゼロックス株	メルシャン株
日本生命保険(相)	株フジタ	株ヤギコーポレーション
日本たばこ産業株	富士通株	安田火災海上保険株
日本テレビ放送網株	株フジテレビジョン	安田生命保険(相)
日本電気株	株富士プロジェクト	山武ハネウエル株
日本電信電話株	株婦人画報社	ヤマト運輸株
日本電波塔株	株プリチストン	ヤマハ株
野村證券株	株文藝春秋	雪印乳業株
株博報堂	本州製紙株	株読売広告社
(社)林原共済会	本田技研工業株	株読売新聞社
バイオニア株	株毎日新聞社	株リクルート
株東日本放送	株マガジンハウス	リコー三愛グループ三愛会
東日本旅客鉄道株	松下電器産業株	株リブラン
久光製薬株	丸紅株	ルイ・ヴィトン ジャパン株
株日立製作所	三井観光開発株	株レナウン
株美研	三井不動産株	ローム株
びあ株	株三越	株フコール
ファイザー株	株三菱銀行	
フィリップ モリス株	三菱信託銀行株	(五十音順)

準会員

財愛知県文化振興事業団	株シアター・ワークショップ	社日本芸能実演家団体協議会
APA芸術振興協会	株シー・ディー・アイ	財日本交通文化協会
茨城県	株社会工學研究所	財八十二文化財団
神奈川県	昭和音楽大学	株ヒューマンデザイン
(学)河合塾生涯教育開発室	有ダブルフェイス	藤沢市
(社)企業メセナ群馬	地人会	株フジテレビギャラリー
京都商工会義所	中央区文化・国際交流振興協会	有ミクル劇団
財京都服飾文化研究財団	東海メセナ研究会	財水戸市芸術振興財団
熊本県	財東京都文化振興会	矢島邦茂法律事務所
慶應義塾大学文学部DNP基金	株ナカイオペラサロントナカイ	財余暇開発センター
芸術文化交流の会	株トライビジョン	リユーズ株
株劇団影ぼうし	財堂本印象記念近代美術振興財団	
劇団四季	日産労連リック事業部	
株劇団飛行船	社日本演奏連盟	
佐賀県企業メセナ協議会	財日本オペレッタ協会	(五十音順)

社団法人企業メセナ協議会は

1990年2月に設立された

企業メセナ(芸術文化支援)の活性化をめざす

わが国初の企業の連合体(社団法人)です。

主たる事業として企業の芸術文化支援についての

1. 啓発・普及 2. 情報収集・仲介

3. 調査・研究 4. 顕彰

5. 国際交流 6. 助成

を行っています。

「メセナ大賞'96」の応募要項は、1996年3月末頃発表する予定です。

詳細は企業メセナ協議会事務局までお問い合わせください。

大賞部会メンバー

(五十音順)

部会長	富岡隆夫	㈱朝日新聞社 取締役・文化企画担当
メンバー	加藤菊男	富士通㈱ 社会活動推進室長
	神先哲雄	㈱日本経済新聞社 広告局次長
	中島和枝	日本アイ・ビー・エム㈱ 社会貢献課長
	中島邦信	サントリー㈱ 文化事業部課長
	広田興三	㈱朝日広告社 営業第4局長
	深沢 孝	松下電器産業㈱ 社会文化部副参事
	茂木周二	㈱産経新聞社 営業局営業開発部参事
	安田憲二	㈱博報堂 文化事業部企画ディレクター
	矢吹和幸	㈱毎日新聞社 広告局広告業務推進本部企画担当部長
事務局	湯本信男	㈱読売新聞社 広告局 広告企画制作部長
	横尾浩輝	安田火災海上保険㈱ 広報部文化事業室長
	専務理事	根本長兵衛
	大賞担当	高井光子
		長南 巖
		小池佐知子



Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

〒100 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン13階
Tel.03-3213-3397 Fax.03-3215-6222